

消防訓練チェックシート例

項 目	内 容	解説
火災覚知	訓練開始時刻 時 分（ストップウォッチスタート）	
	☐ 受信機と警戒区域図を確認し、発報エリアを確認している	自動火災報知設備が設置されている場合
	☐ 隊長の初動の指示が適切である	初期消火班へ現場確認の指示、通報班へ館内放送等の指示を行っている
	☐ 現場確認に行く初期消火班の携行品が適切である	消火器、マスターキー、懐中電灯、拡声器、携帯電話（あれば受信機の送受話器）等
	☐ 通報班の館内への周知方法、内容が適切である	火災か否か確認している旨を落着いて周知している（非常用放送設備やメガホン、拡声器）
	☐ 初期消火班の、隊長への報告が適切である	場所、物、程度、けが人等
通報・連絡	119番通報スタート時点 分 秒	
	☐ 通報班の、119番通報が適切である	住所、事業所名、電話番号、出火場所、けが人、在館者数と避難状況等落着いて通報している
	☐ 通報班の、隊長への報告が適切である	119番通報した旨を隊長に迅速に報告
	☐ 隊長は、館内への火災周知を行うよう通報班に指示している	
	☐ 通報班の、館内への火災周知方法、内容が適切である	出火場所を明確に伝え、係員の指示に従い落着いて避難すること、E.V使用不可等を周知している（非常用放送設備やメガホン、拡声器）
初期消火	消火器による初期消火スタート時点 分 秒	
	☐ 消火器による初期消火方法が迅速かつ適切である	
	屋内消火栓による初期消火スタート時点 分 秒	屋内消火栓が設置されている場合
	☐ 屋内消火栓による初期消火方法が迅速かつ適切である	
	☐ 隊長への初期消火の結果報告が適切である	
避難誘導	☐ 隊長の避難誘導指示が適切である	火災が延焼拡大中であることと避難誘導最優先であることを各隊員に周知している、火災階への隊員の増強を配慮している
	☐ 避難場所の選定、ルートが適切である	各フロアごとに防火区画を適正に設定し、避難者の歩行能力を判断し、垂直避難だけでなく水平避難や籠城避難も取り入れている
	☐ 避難の呼びかけが適切である	非常用放送設備に頼るだけでなく、メガホンや拡声器も活用し大声で誘導できている
	☐ 逃げ遅れ者の有無の確認を行っている	手分けをして各エリアや各部屋、トイレ等に声がけをし、逃げ遅れ者がいないか確認している
	☐ 避難場所での点呼が適切である	逃げ遅れ者、けが人の有無も含めて各避難場所での点呼がとれている
	☐ 隊長への、点呼の結果報告が適切である	各避難場所から隊長へ報告が集約されている
	避難完了報告時点 分 秒	
消防隊引継	☐ 逃げ遅れ者の情報を正確に伝達している ☐ 出火場所と到達経路を正確に伝達している ☐ 負傷者の有無を正確に伝達している ☐ 燃焼物（危険物がないか）の情報を正確に伝達している ☐ 避難状況（避難者数、避難場所等）を正確に伝達している ☐ 消防用設備の作動状況等を正確に伝達している	